

常設展の展示更新予定（令和3年度 上半期）

古代－日本海を行き交う人々－

■^{のきまるがわら ひらがわら}軒丸瓦・平瓦

飛鳥時代 7世紀 金沢市観法寺瓦窯跡出土 本館蔵

展示期間：4月24日（土）～10月6日（水）

金沢市北部の瓦窯跡から出土した飛鳥時代の瓦。この窯の瓦は広坂廃寺（金沢21世紀美術館の敷地にあった古代寺院）で使用された。



■^{ほくしよど き いしだのしよ}墨書土器「石田庄」

奈良時代 8世紀 金沢市藤江B遺跡出土 本館蔵

展示期間：4月24日（土）～10月6日（水）

石田庄は金沢平野の西部にあった古代の荘園。奈良時代後半には荘園が設けられ、海や川の水運に便利な場所に多い。



中世－武士と一揆－

■^{ねんによがぞう}蓮如画像

戦国時代 15世紀 本館蔵

展示期間：4月24日（土）～6月27日（日）

本願寺八世蓮如の肖像画。同時代資料の中では比較的残りの良い優品。令和2年度の修復後初公開。



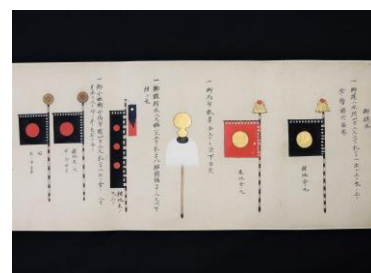
近世－加賀藩の政治と文化－

■^{かようごけんそう}加陽御軍装

江戸時代 本館蔵

展示期間：6月30日（水）～9月12日（日）

加賀藩士が共通して用いた合印や、部隊ごとに定められた「旗指物」や「馬印」などの軍装を図解したもの。



■^{ちようけでんらい た ちこしらえ}長家伝来太刀拵

江戸時代 本館蔵

展示期間：6月30日（水）～9月12日（日）

加賀藩老臣長家（3万3千石）に伝来した太刀拵。梨地の鞘には、長家の家紋である銭九曜紋・揚羽蝶紋が平蒔絵で配されている。



近現代－近代国家と石川県－

■藤華雉子・木槿花 鶏

鈴木華邨筆 絹本著色 対幅 明治末期 小松市立博物館蔵

展示期間：4月24日（土）～6月27日（日）

春季特別展でスポットを当てる金沢出身の絵師・小原古邨。師の鈴木華邨（1860 - 1919）もまた石川ゆかりの画家である。新出資料も織り交ぜ、華邨の画業について特集する。



民俗－加賀・能登の祭り－

■お旅祭り 曳山天井絵

江戸時代 19世紀 小松市材木町蔵

展示期間：4月24日（土）～5月31日（月）

子供歌舞伎で知られる小松お旅まつりの曳山天井絵。九谷焼の名工・粟生屋源右衛門が花鳥図を描いたもので、約3年ぶりの公開。



■納涼祭り 絵巻

1923(大正12)年 清水憲二筆 伊夜比咩神社蔵

展示期間：7月22日（木・祝）～9月27日（月）

「向田の火祭り」として知られる七尾市能登島向田町のオスズミ祭りを描く。能登の夏祭りを描いた唯一の絵巻で、キリコの原型も描かれる。

